

| | |
|-------|--|
| 研究テーマ | [I 素材(材料や用具, 場所など)と出会い, かかわること] 材料を基に造形遊びの楽しさを味わえる活動の在り方 - 小学校1学年「はこのなかまたち」の実践を通して - |
|-------|--|

日上市立日高小学校 教諭 安齊 友里

1 研究テーマについて

(1) 主題設定の理由とねらい

低学年の児童は土や粘土などの材料に体ごとかかわって遊んだり, 身近にあるいろいろな材料を並べたり, つないだり, 積んだり, 何かに見立てて遊んだりする。そこに, 進んで材料などに働きかけ, 見つけたことや感じたことを基に思考や判断をし, 自分の思いの実現を図ろうとする。そこで, 改訂の基本方針から, 材料を基に造形遊びをする活動を通して, 感覚や気持ちを生かしながら楽しくつくったり, 体全体を働かせてつくったりして, 表し方を生み出すことによって創造的な技能を育成していくことをねらいとし, このテーマを設定した。

今回の実践にあたっては, 特に材料との出会いの場を工夫し, 児童一人一人がもつ楽しい様子のイメージを明確にできるように, 児童が集めてきた材料とふれあう時間を大切にしたい。

(2) 仮説

身近な素材を材料にし, 楽しく出会い, 素材とふれあう活動を取り入れれば, 造形遊びの楽しさを十分に味わえるであろう。

2 実践例

(1) 題材 はこのなかまたち (はこ ハコ はこ)

(2) 目標

- ・箱の形や色を見ながらそれらを組み合わせ, 「たのしいなかま」をつくることを楽しもうとしている。
(造形への関心・意欲・態度)
- ・箱を組み合わせながら, つくりたい形や様子を思い付いている。
(発想・構想の能力)
- ・つくりたい形や様子になるように, 箱を組み合わせながら接着する工夫をしている。
(創造的な技能)
- ・お互いの作品を見せ合いながら, 形や色の組み合わせ方の面白さに気付いている。
(鑑賞の能力)

(3) 題材について

本題材は, 自分で集めた箱を並べたり, つないだり, 積んだりしながらできた形のおもしろさに気づき, そこからつくりたいものをイメージし活動を展開していくものである。1年生では, 材料集めは家庭の協力が必要であるが, 少しずつ自分で材料を集めようとする意識を育てていきたい。そのためには, 本題材で使う「箱」という材料は, とても身近で, 子どもにとっても集める目標がわかりやすい材料である。自分で集めた材料は, それだけで意味のあるものであり, 意欲的な活動へつながっていく。また, 図画工作の授業以外の場所で, 材料となるものはないかという観点でものを見ることにより, 材料を探す目が養われていき, さらに鑑賞の能力も身につけていくものと思われる。

また, 並べたり, つないだり, 積んだりしながら形や色のおもしろさに気づき, そのことによって造形的な活動を思いついて, つくり方を工夫しながら進んで活動し, その楽しさを味わうようにすることをねらいとしている。そのため材料遊びの時間を重視し, 箱を並べたり, つないだり, 積んだりして, 活動そのものを十分に楽しみ, そ

のなかで思いついたことからさらに発展していくという活動を行う。気に入ったものができても、壊して、こだわりをもたずに何度も楽しむことができる本活動は、つくる活動の大きなステップとなるものである。

本学級の児童は、31名全員が「図工が大好き」と答えており、つくる活動には大変意欲的に取り組み、図工の時間を楽しみにしている。しかし、つくることに対する関心は高くても、材料を使いこなせず、材料のおもしろさを生かして組み立てることができなかったり、つくりながらの修正や新たな発想が加えられなかったりすることが多い。鑑賞では、仲良しの友だちの作品ばかりに目を向けがちであり、発想のよさや材料の特徴の生かし方まで、目を向けられない傾向にある。

そこで、本活動を通して、自分で材料を集める楽しさを経験させるとともに、身近にある材料で自分の気に入ったものをつくるおもしろさを味わわせたい。また、並べる、つなぐ、積むといった造形遊びを自分だけでなく、二人やグループですることに活動が発展していくことにも気づかせたい。ひとつの形だけで満足するのではなく、形や大きさの違う箱と取り替えたりすると、つくりたいものの様子や表情が変わっていくことにも気づかせ、造形遊びの楽しさを十分味わわせたい。さらに、立体や飾りの接合については、化学接着剤（木工ボンド）の扱い方を指導し、より丈夫に美しく作品を仕上げることができる技能や知恵を養っていききたい。鑑賞では、「わくわく！はっぴょうかい」を設定し、お互いの作品のよさやおもしろさを認め合う活動を通して、想像や完成の喜びを味わえる豊かで楽しいコミュニケーションを期待したい。

(4) 指導計画 (5時間扱い)

| 時 | 主な学習内容 | 評価規準 | 配慮事項 |
|---------|--|--|--|
| 1 | ・集めた箱で自由に材料遊びをする。 | ・箱の形や色を見ながらそれらを組み合わせ、「たのしいなかま」をつくることを楽しもうとしている。(関・意・態) | ・気に入ったものができても壊して、こだわりをもたずに何度も楽しむように助言する。 |
| 2 | ・集めた箱から思いついたものをつくる。 | ・箱を組み合わせながら、つくりたい形や様子を思い付いている。(発想・構想) | ・何かの形に似ているなどの発見を友だちに伝えたり、紹介したりすることで、自分の思いをイメージ化できるようにする。 |
| 3 本時 | ・箱の組み合わせ方や飾り方を考えながらつくる。 | ・つくりたい形や様子になるように、箱を組み合わせながら接着する工夫をしている。(技能) | |
| 4 | ・「わくわく！はっぴょうかい」を設定して、友だちとできた作品を見せ合い、楽しい形を教え合う。 | ・お互いの作品を見せ合いながら、形や色の組み合わせ方の面白さに気付いている。(鑑賞) | ・自分がつくった楽しい形を友だちと見せ合い、会話を楽しめるような場を設定する。 |

(5) 本時の学習

◇目標

- ・つくりたい形や様子になるように箱を組み合わせながら思いを広げ、工夫して表している。

◇準備・資料

- ・いろいろな箱 ・空き容器 ・ビニールテープ ・クレヨン ・はさみ
- ・接着剤 ・のり ・色画用紙 ・色工作用紙

| 学習活動・内容 | 指導上の配慮と支援 ○ 評価 |
|--|--|
| <p>1 本時の学習のめあてや活動内容をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>はこをくみあわせて、たのしいなかまをつくろう。</p> </div> <p>2 自分の集めてきた箱を並べたり、つなげたり、積み上げたりしながら、つくるものを考える。</p> <p>(1) 箱を重ねてつくる方法と、厚紙に並べてつくる方法を知る。</p> <p>(2) 並べたり、つなげたり、積み上げたりしながら、つくりたいものを思いつく。</p> <p>3 「たのしいなかま」になるように箱の組み合わせ方や接着の仕方を工夫する。</p> <p>(1) 大きさの違う箱と取り替えてみたり、はさみを使って工夫したりしながら、つくりたい様子になるようにつくる。</p> <p>(2) 接着剤の使い方を知り、箱と箱を組み合わせつけてたり、厚紙につけてたりする。</p> <p>4 自分のイメージに合わせて装飾をする。</p> <p>5 本時のまとめをし、次時の学習の内容を知る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容について説明し、意欲をもつことができる。 ・自分で集めてきた箱を自由に並べたり、つなげたり、積み上げたりしながら、形や色のおもしろさに気づくようにし、つくりたい思いを引き出すようにする。 ・何かの形に似ているなどの発見を友だちに伝えたり、紹介したりすることで、自分の思いをイメージ化できるようにしたい。 ・箱を重ねてつくるつくり方と、厚紙に並べてつくるつくり方を知らせる。 ・並べ直しをしたり、グループで活動したりして、ひとつの形にこだわらずに、イメージを十分に広げられるようにしたい。 ・児童の紹介に対しては、共感の姿勢をもって受け入れるようにする。 ・形や大きさの違う箱と取り替えたりすると、つくりたいものの様子や表情が変わることを知らせる。 <p>◎なかなか作業が進まない児童には、一緒に考えることで意欲的に活動できるように支援したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくりながら気づいた際には、色紙やサインペンなど他の材料も使えるようにする。 ・薄くのぼして使う、少し待ってからつけるなど、接着剤の使い方を伝える。 ・接着面が狭く接着剤では付けにくい箇所では、セロハンテープや粘着テープを使って接合させるようにする。 ・接着剤のつけ方がしっかりできているか確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○つくりたい形や様子になるように箱を組み合わせながら思いを広げ、接着を工夫して表している。(観察)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・箱の外側に模様をつけたり、目をつけたりすることによって、さらに楽しいものになることに気づかせたい。 ・子どもの活動の様子に合わせて、色紙やリボン、その他の材料を用意しておくようにする。 ・次時は、「わくわく！はっぴょうかい」を開き友だちとできた作品を見せ合うことを伝える。 |

3 成果と課題

(1) 成果

- ・「自分で集めた箱」以外にも箱を用意し、たくさんの箱を自由に使って遊べるようにすることで、夢中になって材料遊びをすることができた。
- ・「箱」という身近なものを材料にすることで、身近な材料についての新たな発見や驚きがあり、「この箱は材料になりそうだ」という観点でものを見る目、「こんな感じの箱が欲しい」と材料を探す目が養われていった。
- ・材料遊びの時間を十分にとることで、箱を自由に並べたり、高く積み上げたりしながら、楽しい形をつくったり、箱の色を揃えたりして、とても意欲的に活動できた。
- ・グループで活動することで、何かの形に似ているなどの発見を友だちに伝えたり紹介したりしやすく、自分の思いをイメージ化しやすくなった。

(2) 課題

- ・「自分の集めた箱」という思い入れが強く、他に用意していた形や大きさの違う箱と取り替えてみようとする児童は少なかった。
- ・箱や飾りの接着の仕方については、きれいに接着しようとする意識は高まったが、常に声を掛けていないと粘着テープに頼りきってしまう児童も多かった。用具・材料の扱い方を指導するときには、練習の時間を確保したり、よりきれいに作品を仕上げることができる用具・材料についても指導したりし、身につけさせたい。



高く積んでみよう



ロボットに似てるでしょ



これもつかえるかなあ



ロケットができたよ